JASDAQ

平成16年3月期　第1四半期業績の概況（非連結）

平成15年7月23日

会　社　名　日本ライフライン株式会社　　（コード番号：7575　登録銘柄）
（URL　http://www.jll.co.jp　）
代　表　者　役　　職　　名　代表取締役社長
　　氏　　名　増本　武司
問い合わせ先　責任者役職名　常務取締役管理本部長
　　氏　　名　金田　秀次　　（Tel：(03) 3590－2120）

１．四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高又は売上に相当する事項の会計処理の方法の最近事業年度における認識の方法との相違の有無　：　有　・　(無)

２．平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

（１）売上高　　（記載金額は百万円未満切り捨て表示）

	百万円	%
平成16年3月期第1四半期	4,145	(△1.0)
平成15年3月期第1四半期	4,187	(8.5)
（参考）平成15年3月期	16,722	(6.4)

（注）１．パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示す。

売上高に関する補足説明

当四半期においては、昨年4月、本年1月に実施され、さらに来年1月に予定されている心臓ペースメーカ、PTCAバルーンカテーテル等の特定保険医療材料償還価格段階的引き下げによる利益圧縮など、環境は変わらず厳しい方向へと向かっております。

このような状況下、当四半期の売上高は41億4千5百万円と、前年同期比99.0%となりました。各品目別の詳細につきましては以下の通りです。

人工臓器類

心臓ペースメーカについては、4月、5月はほぼ計画通りの売上高を達成しておりましたが、6月に商品の一部自主回収に伴う一時販売停止をしたことにより、6月の売上高は減少いたしました。他方、6月1日より販売開始したICD（植込み型除細動器）の新商品「プリズム2」が順調に売上を伸ばしたことにより、心臓ペースメーカ関連売上高合計は24億7百万円（前年同期比91.9%）となりました。

また、人工弁、人工血管などの他の人工臓器類については順調に推移したことにより、人工臓器類売上高合計は35億1千4百万円（前年同期比96.0%）となりました。

ディスポーザブルカテーテル類

前期下半期に発売した自社ブランド製品であるPTCAバルーンカテーテル「ダンガン」、および自社製品のガイドワイヤー「アスリートシリーズ」において、市場のニーズに対応した製品バリエーションを増やしたことにより順調に売上を伸ばし、ディスポーザブルカテーテル類売上高合計では3億6千8百万円（前年同期比119.6%）となりました。

その他

自社製品電気生理用（EP）カテーテル「アンサンブル」、およびアブレーションカテーテル等のEP関連商品が、市場の拡大とともに順調に売上を伸ばしており2億2千2百万円（前年同期比109.3%）、その他合計では2億6千1百万円（前年同期比120.6%）となりました。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3.平成16年3月期の業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
中間期	9,110	452	264	23　37
通期	18,671	1,100	562	45　27

業績予想に関する定性的情報等

上に記載しましたとおり、今6月に心臓ペースメーカの一部を自主回収、実質7日間の販売停止をいたしました。これによる影響には種々の要因があり、その金額を正確に算定することは困難ですが、当該商品に係わる当年度の売上高予想と、販売停止期間の営業日数を基に算定した計算上の減収額は、約2億6千3百万円程度であります。

他方、6月に発売いたしましたICDの新商品「プリズム2」の販売が好調なこと、および今後の心臓ペースメーカを含む全商品の拡販努力により、その影響額は補えるものと想定しております。よって、今期の業績予想の変更はございません。

以　上